

平成 27 年 4 月 30 日

各 位

会 社 名 EPS ホールディングス株式会社
 代 表 者 代表取締役 巖 浩
 (コード番号:4282 東証一部)
 問 合 せ 執行役員
 責 任 者 第一経営支援グループ長
 小 山 哲 弥
 電 話 番 号 0 3 - 5 6 8 4 - 7 8 7 3

平成 27 年 9 月期第 2 四半期業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成 26 年 11 月 6 日付けで公表した業績予想を下記のとおり修正しましたのでお知らせいたします。

記

1. 業績予想数値の修正について

平成 27 年 9 月期第 2 四半期(累計)連結業績予想値の修正(平成 26 年 10 月 1 日～平成 27 年 3 月 31 日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	21,396	1,728	1,554	651	17 12
今回修正予想 (B)	22,052	2,439	2,508	984	26 89
増減額 (B - A)	656	711	954	333	—
増減率 (%)	3.1	41.1	61.4	51.2	—
(ご参考) 前年同期実績 平成26年9月期第2四半期	19,852	1,923	1,978	896	25 27

(注) 当第 2 四半期における 1 株当たり当期純利益の金額は、平成 27 年 1 月 1 日付けにおける株式交換による新株発行を考慮して算出しております。

2. 修正の理由

売上高については、主として当初計画を上回り順調に推移している国内 CRO 事業と国内 CSO 事業が牽引し、前回発表の予想数値を上回る見通しです。国内 CRO 事業においては、モニタリング業務では獲得した案件の着実な推進により、またデータマネジメント業務は、堅調な案件受注を背景として、プロジェクトが前倒しで順調に推移していること、更に国内 CSO 事業においては、医薬向 CMR および DI 業務が計画以上に推移したことが主な要因であります。

利益面については、国内 CRO 事業において、上記増収に加えて、プロジェクト毎の管理徹底による売上原価の低減により生産性が向上したことにより、前回発表の予想数値を大きく上回る見通しです。

3. 通期の業績予想

通期の業績予想につきましては、売上高、利益面ともに、各セグメントにおいて、今後の状況推移を見据える必要があることにより、現段階では変更しておりません。今後、業績予想の修正が必要となった場合には速やかに開示いたします。

(注) 上記の業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によってこれら予想数値と異なる可能性があります。

以上